



もりた洋一の一般質問



1. 市民生活向上のための環境整備について

①ゲリラ豪雨の浸水状況図や水害対策マニュアルの整備状況はどうか。

【答弁】水防活動実施マニュアルを作成し、体制基準を定めた。内容は市のホームページで公開する。

②今上落しや大堀川防災調節池など、県の事業に対する市の取り組みはどうか。

【答弁】市は協力していく。今上落しの未整備区間は整備を要望する。

2. 市内の救急医療体制について

①産科・小児科に特化した夜間救急体制確立をどう考えるか。

【答弁】愛友会記念病院で1名の産科医師が、東葛病院で2名の小児科医師が当直にあたっている。今後も、千葉県と流山医師会と連携をはかり充実に努める。

3. 電算業務と業務改善について

①基幹システムのドキュメント(書類)整備が必要ではないか。

【答弁】システム全体・項目・データ入力など、職員自らが仕様書を作成した。

②手作業と機械作業を示す業務概念図作成が急務ではないか。

【答弁】業務マニュアルやフローを作成し、部署ごとに管理するように推進している。

③ダウンサイジングにより、サービス充実が図られるのではないか。

【答弁】パソコンの使いやすさや迅速な事務処理により、サービスが向上している。

④グループウェアを積極的に活用・推進すべきではないか。

【答弁】機能充実と共に事務軽減や業務改善に役立てていく。

4. 国際化対策について

①国際姉妹都市検討の市民協議会の現状と今後はどうなっているか。

【答弁】一般公募で5名を選出し、国際交流団体2団体と経済関係2団体から推薦4名を加える。六月二十四日に第1回検討会を開催する。

②検討の期間と結論付けは。

【答弁】年内を目途に市民協議会より候補地を複数選択してもらい、報告を受ける。

③国際姉妹都市の、行政から見たあるべき姿は何か。

【答弁】市民レベルの積極的交流で、行政は側面支援。経費は少なく持続的なこと。

④後期基本計画で国際化対策をどう考えるか。

【答弁】行政は国際化を念頭に仕事をしており、詳細は計画策定の中で検討していく。